

新津東部

コミュニティ協議会だより

● 令和8年3月 発行 ●



第一回「歴史探訪」開催

文化教養部部长 桂 賢一

十一月十八日水曜日に、新津東部コミュニティ協議会主催の第一回「歴史探訪」を開催いたしました。当日は寒く小雨というあいにくの天候にもかかわらず「女性十九名・男性九名」合計二十八名と一人のキャンセルもなく、参加申込頂いた皆様全員の参加を頂き行事を行う事が出来ました。本当に感謝申し上げます。

北方文化博物館に向かうバスの中で、高橋さんより「北方文化博物館」の歴史についての説明をしてもらおうと皆さん興味津々、あつという間に目的地に到着しました。

到着すると、別のバスで「ミスインターナショナル大会」に参加する女性たちが見学に訪れてました。皆さんの日が「ホーツ」と向いていました。

今月二十七日が最終選考とか。それはさておき、北方文化博物館では初めにガイドさんに北方文化博物館の由来について説明をしていただき、その説明を基に皆さん歴史のロマンを感じながら？見学を楽しみました。

そして紅葉は？と心配してましたが最近の寒さのせいか庭の木々が程よく紅葉しており楽しめました。昼食は大食堂「みそ蔵」で和定食を皆さん揃って和気あいあいとされながら、温かい食事にはっこりとして、たいへんおいしく頂きました。

その後皆さんのおおので、お土産買ったり等々時間を過ごしてもらい、少し早めの帰路となりましたが無事終了する事が出来ました。

この初めての歴史探訪、大勢の皆様に参加いただき実行出来た事、本当にありがとうございました。



新津川 おかえり☆灯りぷろじえくと 7

新潟市補助事業

2025年10月25日(土) 13:00~16:00 会場 新津第二小 体育館他

新津川おかえり☆灯りぷろじえくとは、新津第二小学校、二小PTA、新津東部コミュニティ協議会が協働で開催し、二小児童、新津東保育園、新津カトリック幼稚園の園児、新津第五中学校 美術部の生徒さん、新潟大学 丹治先生のご協力で、幼保・小・中・大学が協働して行ってきました。

今回は、新津観光協会にもご協力を頂き、堀出神社を灯籠でライトアップする事業で、新津工業高校 日本建築科の生徒さんが作成した「木枠灯籠」を特別展示することができました。

これまでご縁のなかった高校と今回ご縁がいただけたことで、今後も、新津工業高校さんと良い関係を構築して、東部コミ協や新津第二小学校の行事等にもご協力頂くことが出来ればと願っております。



●灯籠でライトアップ事業
：新津観光協会



●木枠灯籠
：新津工業

おかえり☆灯りぷろじえくと 「缶バッジキーホルダーデザイン」コンテスト

二小の6年生全員に、新津川やサケや地域への想いを缶バッジにデザインしてもらい、新潟大学丹治先生の監修の下で、優秀賞10点を選出し、全校児童で投票を行い、最優秀賞を選んで頂きました。

最優秀賞のデザインで缶バッジキーホルダーを作成し、全校児童、来場者に配布致しました。

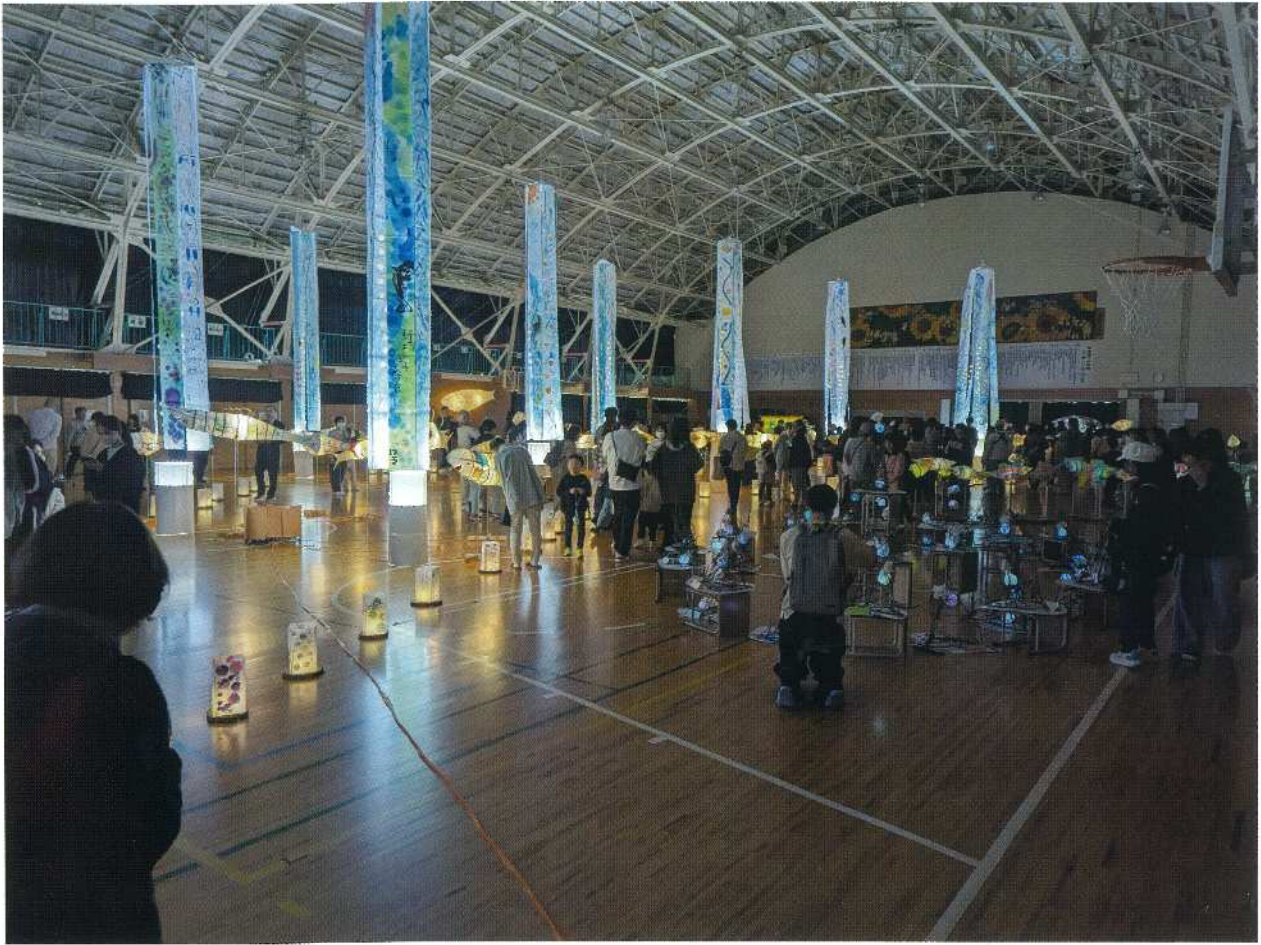
最優秀賞、優秀賞の10人には、賞状と副賞として、展示用の大型缶バッジを贈呈致しました。



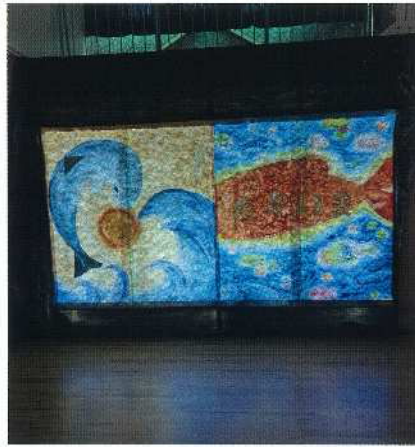
●優秀賞9人



●缶バッジキーホルダー



●新津工業：木枠灯籠



●五中美術部：壁灯ろう



●つるし灯ろう



●紙灯ろう



●枝灯ろう



●サンゴ灯ろう

「いもじかざりのお祭り」開催

文化教養部部长 桂 賢一

令和八年二月一日(日)〜三月十五日(日)の期間、本年度は新しく名前を変え、「つるしかざりのお祭り」が「秋葉区ひな*お宝めぐり」行事の「環」として開催されました。前年度までは、秋葉区自治協議会主催でしたが、本年度より新津中央、新津東部、新津西部、阿賀浦、満日コミュニティ協議会が主催で開催する事になり、新津東部コミ協では、文化教養部が担当しました。



令和八年二月三十一日に、五十六団体が作成した八十点のつるしかざりを会場に飾り付ける作業を行いました。期間中は大勢の皆様にご来場頂き、皆様の素晴らしい作品をご鑑賞頂くことができました。

※東部地区参加団体は左記
 新潟市立新津東保育園・新津カトリック幼稚園・ディブルアイランドバンブーキッズ/SUN・新潟市立新津第二小学校、アレック北栄
 デイサービスセンターたのしい家金沢・デイサービスてまり歌・NPO法人たかひらの会・金沢町なつめる会の九団体の皆様でした。

東部コミ協 未来ビジョン事業 2025

総務部

今年度の未来ビジョン事業は、新津川遊歩道の写真をインスタグラムで募集する新津川遊歩道マップ写真大募集事業と新津川を遡上するサケの目撃情報を募集する「WANTED! NITSU SALMON」を行いました。

新津川遊歩道マップ写真大募集は、応募を頂きましたが、現在、百件に達していないので、次年度も継続して行ければと思っております。

サケの目撃情報募集は、昨年度に続いて二回目ですが、目撃情報の提供はありませんでした。

能代川サケ・マス増殖組合さんの情報では、採捕施



設で、八〇〇匹のサケを確保したと認めたので、この事業も継続していければと思っております。

未来ビジョン事業では、大きな成果は見られませんでした。新津第二小学校の五年生が「夢の新津川プロジェクト」を立ち上げ、その第一弾の行動として、四年生が、新津川にサケの稚魚を放流する日に、五年生が中心となって新津川のゴミ拾いを行いました。

ゴミ拾いには、東部コミ協役員も参加させて頂きました。

今後も児童の活動を支援しながら未来ビジョンを進めていきます。



編集後記

おかげさまで、新津東部コミュニティ協議会も設立20年を迎えることができました。

新津第二小学校と新津川をテーマに地域の皆様方に参加して頂けるイベントや行事を中心に活動することで、地域内に「顔の見える関係」を少しでも作ることができたと思っています。

また、新津第二小学校の約30年に渡る、新津川や地域をテーマにした総合学習に地域と協力することで、地域で子どもを守り育てる輪が広がったと感じております。

現在の保護者の中にも、児童の時に「サケの稚魚の放流」をしたことのある方が増えてきています。今後も、世代を超えて地域を守り育てる活動を行えればと願っております。

総務部 渡邊

新津東部コミュニティ協議会だより

—令和8年3月号—

- 発行者：新津東部コミュニティ協議会
- 発行人：石澤 哲夫
- 事務局：新潟市秋葉区新津東町1丁目5番12号
新津地区勤労青少年ホーム内
TEL・FAX 0250-23-0780
- 編集：新津東部コミュニティ協議会 総務部
- 印刷：(株)トーヨービジネス